

必要なのは、挫折や苦難があってもそれを乗り越えようとする姿勢。



**国井 里奈**さん(1997年生まれ)

愛知県立高蔵寺高校 出身  
愛知大学 法学部卒業

**愛知県警察本部**

名古屋市中区三の丸 2-1-1  
https://www.pref.aichi.jp/police/

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校を卒業 → 大学へ進学 → 警察官採用試験に合格 → 警察学校に入校 → 地域課に配属

——学生時代

「高校時代はハンドボール部に所属し、部活三昧の3年間でした。仲間の大切さを実感しましたし、最後まで諦めない精神力を養うことができたと思います。警察官を目指したのは小学生のときから。きっかけは警察官である親戚から仕事の話を知っていて、人を助ける仕事に就きたいと思うようになりました」

大学時代について教えてください。

「高校卒業後、愛知大学法学部に進学しました。刑法民法、刑事訴訟法など法律の基礎を学びました。ゼミの研究テーマは、地方自治について。若者を集めるアイデアなど、地方都市の地域政策について学びました。警察官採用試験は、大学の公務員試験対策講座を受講して臨みました」

——仕事について

「大卒者は半年間、警察学校で教養を受けます。座学では法律の知識を学び、術科の授業では剣道や逮捕術などを学びました。中でも大楯を持って走るなどした警備実施の訓練では、体力も精神力も鍛えられたと思います。困っている仲間がいたらみんなで助け合って乗り越えるという意識が芽生え、チームワークも育むことができました」

仕事内容を簡単に教えてください。

「地域課に配属され、交番勤務をしています。地域の安全を守ることが私たちの仕事。落とし物の受理、交通違反の取締りなど業務は多岐にわたります。困りごとはないか」



「不審者はいないか」を聞きながら各家庭を訪問する巡回連絡も大切な活動の一つです。110番通報があったとき、事故・事件現場に最初に駆けつけるのが私たち地域課の警察官。事故の場合、けがはないか、どんな事故だったのかを確認し、事件の場合は関係者への事情聴取を行います。犯人が現場にいない場合は、周辺の目撃者から犯人の特徴や状況を知ったり、防犯カメラ映像を確認するなどの捜査を行います」

心がけていることは？

「誰もが気軽に交番を訪ねることができるように、親しみやすい雰囲気や言葉づかいで話を聞くように努めています。犯人に対しては毅然とした態度で対処する一方相談に来た方に対しては思いやりの心をもって対応することを心がけています」

——やりがい

「地域の方に、「あなたに相談してよかった」と言ってもらえたときにやりがいを感じます。交番に来所してきたときは元気がなかった方が、帰るときは「ありがとう」と安心した表情で元気になって帰っていく様子を見るのもうれしいです」

——なるためには

「警察官は、誰かのために頑張りたいと思える人に向いている仕事だと思います。体力に自信がなくても訓練に取り組みことで自然と鍛えられます。あとは、挫折や苦難があってもそれを乗り越えようとする姿勢、諦めない心が大切。私は部活を通してその気持ちを養うことができました。高校生のみなさんには、今の自分が楽しきり過ぎせているのは、家族や友達、先生のおかげだということを忘れないでほしいです。社会に出てからも感謝の気持ちが大切ですよ！」

ありがとうございました。



自分史

- 18歳 ↓ 部活三昧の高校3年間。高校卒業後、愛知大学法学部に進学。
- 22歳 ↓ 公務員試験対策講座を受講。警察官採用試験に合格し、警察学校へ。
- 25歳 ↓ 交番では親しみやすい雰囲気づくりを意識し、地域の安全を守る。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>

